

# 令和4年度公益社団法人茨城県青少年育成協会事業報告 及び収支決算について

## [事業報告]

### 実施事業の概要

明日の茨城を担う青少年が、豊かな心を育み、たくましく成長し、自立・活躍できる社会を実現することは、すべての県民の願いです。

しかしながら、急激な社会の変化に伴い、家庭や地域の教育力が低下している今日、青少年にとっての成長の糧となる生活体験や自然体験の減少により、規範意識や社会性の低下、思いやりの欠如、いじめ、不登校・ひきこもり・ニート、さらには、ネット犯罪の被害や児童虐待・貧困問題等様々な問題が指摘されています。

また、新型コロナウイルス感染症の流行は、3年を経過し、青少年の孤独・孤立問題の一層の顕在化が指摘されています。

このような青少年を取り巻く問題は大人社会の反映であり、大人自身も生きる姿勢が問われていることは言うまでもありません。

そのため、地域の大人自らが、その役割を自覚し、学校・家庭・地域社会が相互に連携・協力していく「大人のマナーアップ運動—大人が変われば、子どもも変わる—」の普及促進を県民運動の根幹に据え、各種事業に取り組みました。特に「地域を編む孤立0（ゼロ）プロジェクト事業」をとおして、課題を抱える青少年への理解を深めるとともに、社会全体による青少年育成支援の環境整備に努めました。

また、青少年の自立心や社会性を育む「少年の主張茨城県大会」を継続して開催するとともに、市町村においても同様の主張大会が開催されるよう働きかけてまいりました。

さらに、青少年育成県民運動の更なる発展を目指し、青少年育成市町村民会議の全市町村設置の働きかけとともに、関係機関・団体との連携を一層図りながら、次の7項目を重点目標として各種活動を展開しました。

#### 重点事業

- 1 「大人のマナーアップ運動—大人が変われば、子どもも変わる—」の普及推進
- 2 「あいさつ・声かけ運動」の推進
- 3 「少年の主張茨城県大会」等青少年主張大会の充実
- 4 「明るく楽しい家庭づくり」運動の推進
- 5 「地域を編む孤立0（ゼロ）プロジェクト事業」の推進
- 6 青少年育成市町村民会議、関係機関、PTA、その他関係団体との連携強化
- 7 県立青少年会館の運営に関わる事業の充実

- 1 「大人のマナーアップ運動—大人が変われば、子どもも変わる—」の推進では、「大人のマナーアップ宣言」のほか、関係機関・団体と連携して街頭キャンペーンを実施するとともに、市町村との連携によるのぼり旗等の啓発物品の共同作製をとおして普及啓発に努めた。
- 2 「あいさつ・声かけ運動」では、11月を強調月間と定め、関係機関・団体と連携し、街頭キャンペーンを実施するとともに、のぼり旗等の共同作製をとおして、青少年育成市町村民会議、関係団体等の取り組みの支援に努めた。
- 3 「少年の主張茨城県大会」については、3年ぶりに本格的に開催することができ、青少年に社会の一員であることの自覚を促す効果的な機会となった。また、これに併せ、主張発表記録集及び県大会出場者全員の主張発表を収録したCDを作成し、中学校、市町村及び正会員団体等に配付して、青少年の健全育成に対する県民の理解と関心の向上に努めた。
- 4 「明るく楽しい家庭づくり」運動の推進では、小学生及び中学生から「家庭の日」を主題とした絵画やポスターを募集した。市町村から推薦を受けた作品について、新に審査会を設置し、最優秀作品を選定した。また、全作品を機関紙「あけぼの」で紹介するとともに、県央・県南二カ所で作品展を開催し、「家庭の日」の普及啓発の充実に取り組んだ。
- 5 地域を編む孤立0（ゼロ）プロジェクト事業では、困難を抱える子ども・若者の支援活動に取り組む団体を公募し、3団体に補助金を交付するとともに、活動に対する助言等をとおして連携・協働を促進した。  
また、子ども・若者の抱える生きづらさなど、現代的課題に対する理解を深めるため関係4団体による合同研修会を開催し、講演やグループワークなどを通して現状についての認識を深めるとともに情報共有に取り組んだ。
- 6 青少年育成市町村民会議、関係機関、PTAその他関係団体との連携強化では、青少年育成市町村民会議が開催する各種会議、研修会等に出席・参加し、情報の提供や活動の支援を行った。
- 7 県立青少年会館の運営に関わる事業の充実では、子ども・若者の居場所となるアイルームの学習環境の整備に努めるなど、利用者サービスの促進及び会館機能の向上に努めた。

## 実施事業の内容

### I 県民運動推進事業

#### ◎ 県青少年育成協会の組織体制

役員	会長	1名	副会長	7名
	理事	29名	(会長、副会長を含む。)	
	監事	2名		
事務局職員	局長	1名	副主査	1名
	係長	1名	主事	1名
	常勤嘱託員	1名	臨時職員	1名
	非常勤嘱託員	5名		

#### 1 県青少年育成協会の運営

##### (1) 総会

###### ①令和4年度定時総会

- 開催日 令和4年6月22日(水)
  - 会場 県立青少年会館(水戸市)
  - 出席正会員 97名中84名(書面表決者30名を含む)
  - 議事 議案第1号及び第2号について審議し、承認可決した。
    - 議案第1号 令和3年度事業報告及び収支決算について
    - 議案第2号 役員を選任について
  - ・監事から監査報告があった。
  - ・役員を選任について、中荃道夫 役員選考委員長から選考経過について報告があった。
  - ・当協会への要望について、事務局長から説明した。
  - ・退任する理事から退任の挨拶があった。また、理事に就任する被選任者から就任の挨拶を行った。
- 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、正会員1団体1名の出席として開催した。

##### (2) 理事会等

###### ①理事会

###### (第1回)

- 開催日 令和4年6月1日(水)
- 会場 県立青少年会館(水戸市)
- 出席理事 29名中23名
- 出席監事 2名中2名
- 議事 令和4年度定時総会付議事項等について審議し議決した。
  - 議案第1号 令和3年度事業報告並びに収支決算について
  - 議案第2号 令和4年度定時総会の開催について

議案第3号 役員を選任について

議案第4号 事務局長の任免について

○報告事項 次の項目について報告した。

・会長報告

事業の執行状況について（令和4年5月末日まで）

・正会員の退会について

・監事から監査報告があった。

・定時総会で退任予定の9名の理事から退任の挨拶があった。

(第2回)

○開催日 令和4年6月22日(水)（定時総会終了後に開催）

○会場 県立青少年会館(水戸市)

○出席理事 30名中 24名

○出席監事 2名中 0名

○議事 会長及び副会長の選定について審議し議決した。

議案第1号 会長及び副会長の選定について

(第3回)

○開催日 令和5年3月3日(金)

○会場 県立青少年会館(水戸市)

○出席理事 29名中 21名

○出席監事 2名中 2名

○議事 令和5年度活動方針並びに事業計画及び収支予算等について審議し議決した。

議案第1号 令和5年度活動方針並びに事業計画について

議案第2号 令和5年度予算について

議案第3号 名誉会長、顧問及び参与の委嘱について

○報告事項 次の項目について報告した。

・令和4年度青少年団体等顕彰受賞者及び感謝状の贈呈について

・令和4年度「家庭の日」絵画・ポスターについて

・青少年会館の利用状況等について

・基本財産の預け入れ先について

・会長報告

事業の執行状況について（令和5年2月末日まで）

○その他 次の項目について説明した。

・賛助会員の入会状況

・令和4年度青少年団体等表彰式・令和5年度事業説明会及び意見交換会について

・正会員継続の確認について

・令和5年度青少年育成市町村民会議会長・事務局長・青少年行政担当者等研修会について

## ②役員選考委員会

令和3年度第2回理事会で決定された役員改選の方針のもと、次期役員候補者にならない5名の委員をもって役員候補者選考委員会を構成した。

### (第1回)

- 開催日 令和4年4月19日(火)
- 出席委員 5名中5名出席
- 議 事 正副委員長の選出、スケジュール確認
  - ・委員は、篠崎憲示理事、小堀修弥理事、大内穰理事、委員長に中茎道夫理事、副委員長に牧野恵美子参与を決定するとともに今後のスケジュールについて確認した。

### (第2回)

- 開催日 令和4年5月16日(月)
- 出席委員 5名中5名出席
- 議 事 役員候補者(案)の作成
  - ・役員改選に伴う役員候補者(案)を作成し、第1回理事会に付議し委員長から選考経過を報告することとした。

## ③正副会長会議(役員連絡会議)

正副会長会議(役員連絡会議)は協議の他、役員相互の情報の共有として、事業の執行状況、関係団体への出席結果及び事務局からの報告等を行った。

### (第1回)

- 開催日 令和4年6月22日(水)
- 会 場 県立青少年会館(水戸市)
- 出席者 正副会長8名中 8名出席
- 内 容 事業の執行状況等の報告及び当面の実施事業について事務局から説明を行うとともに、令和4年度予算の方向性などについて協議した。

### (第2回)

- 開催日 令和5年2月17日(金)
- 会 場 県立青少年会館(水戸市)
- 出席者 正副会長8名中 6名出席
- 内 容 情報共有を行うとともに、第3回理事会へ上程する議案について協議した。

## ④監査の実施

- 開催日 令和4年5月27日(金)
- 会 場 県立青少年会館(水戸市)
- 内 容 令和3年度事業報告及び収支決算について、中村弘行監事及び今関裕夫監事が監査を行った。

## 2 県民運動推進事業

### (1) 青少年育成活動推進意見交換会

#### ①第1回

- 開催日 令和4年6月22日(水) (定時総会時)
- 会場 県立青少年会館(水戸市)
- 出席者数 84名
- 講演 演題 「青少年と創る明日の地域社会  
ーテーマ型コミュニティを育てようー」  
講師 筑波大学・札幌市立大学 名誉教授 蓮見 孝 氏

#### ②第2回

- 開催日 令和5年3月24日(金)
- 会場 県立青少年会館(水戸市)
- 出席者数 86名
- 内容 ・令和5年度活動方針並びに事業計画・収支予算について説明した。  
・県青少年育成協会への要望、実施事業に対する意見交換を行った。

- 新型コロナウイルスの感染拡大防止を受け、正会員1団体2名程度の出席として開催した。

### (2) 広報活動

青少年育成県民運動を広報啓発するため、ホームページ、機関紙等の各種媒体を活用して広報活動を行った。

- 機関紙「あけぼの」
  - ・第135号 令和5年3月発行 16ページ 6,000部
  - ・配付先 市町村、市町村民会議、正会員、賛助会員、県庁関係課、県等関係機関・団体、都道府県民会議等

### (3) 各種表彰

#### ①青少年団体等顕彰

地域で地道に優れた活動を展開している青少年団体、青少年、青少年育成団体及び青少年育成指導者を表彰し、その活動を奨励した。

- 青少年団体等顕彰選考委員会
  - ・開催日 令和5年2月17日(金)
  - ・会場 県立青少年会館(水戸市)
  - ・出席者 選考委員9名中 7名出席
- 表彰式
  - ・開催日 令和5年3月24日(金)
  - ・会場 県立青少年会館(水戸市)
  - ・出席者 116名

- ・顕彰件数 11 件（青少年団体 1 団体 青少年 1 名  
青少年育成団体 2 団体 青少年育成指導者 7 名）

## ②感謝状贈呈

令和 4 年度青少年育成県民運動に貢献した団体等へ感謝状を贈呈した。

○贈呈件数 11 件（敬称略）

- ・多額の活動助成金を寄せられた団体  
ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区（水戸市）
- ・少年の主張茨城県大会に貢献された法人  
株式会社 鹿島アントラーズ・エフ・シー（鹿嶋市）
- ・「あいさつ・声かけ運動」に貢献された法人  
株式会社 フットボールクラブ水戸ホーリーホック（水戸市）  
株式会社 茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメント（水戸市）
- ・「青少年健全育成茨城県推進大会」に多額の活動助成金を寄せられた法人  
公益財団法人 げんでん ふれあい茨城財団（東海村）
- ・「家庭の日」絵画・ポスターに貢献された法人  
ぺんてる株式会社 茨城工場（小美玉市）  
イオンモール水戸内原（水戸市）  
イオンモールつくば（つくば市）
- ・子ども・若者アシスト i (アイ) 事業に貢献された法人、個人及び団体  
水戸農業協同組合（水戸市）  
田口光一（茨城町）  
茨城県女性のつばさ連絡会中央地域（水戸市）

## (4) 会議等への出席

青少年育成県民運動の連携を図るため、県関係機関、団体が行う青少年健全育成関係諸会議、大会等へ出席・参加し、協力・連携を深めながら効果的な運動の推進を図った。

○関係機関・団体との連携先（12 機関団体）

- ・茨城県青少年健全育成審議会
- ・茨城県子ども・若者支援地域協議会
- ・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会
- ・茨城県安全なまちづくり推進会議
- ・茨城県暴走族対策会議
- ・“社会を明るくする運動”茨城県推進委員会
- ・チャレンジいばらき県民運動
- ・茨城県ユースホステル協会
- ・全国青少年育成県民会議連合会
- ・公益社団法人茨城原子力協議会
- ・(公財)茨城県暴力追放推進センター
- ・茨城県 20 歳未満喫煙防止対策協議会

また、13 の機関、団体の事業に対し後援を行った。

## (5) 青少年心理アドバイザーの派遣

青少年育成者の資質向上と地域活動の促進を図るため、青少年心理やカウ

セリング等に専門的な技術や知識を有する「青少年心理アドバイザー」を、地域で開催する研修会等へ派遣した。

- ・青少年心理アドバイザー 14名（登録者、内、1名は新規）
- ・派遣 4回

(6) 青少年関係事業の相談等

青少年団体活動、青少年育成活動に関する相談に応じた。

### 3 青少年育成県民運動の周知強化事業

青少年育成県民運動の充実と一般県民等へ更なる周知を図るため、賛助会員及び事業協賛金等の募集活動を行った。

(1) 新賛助会員の確保

○実績 55,000円

(新規加入 法人3口 / 個人5口 / 特別賛助会費10口)

(2) 協賛金・活動助成金等の受入等

○協賛金	水戸西ライオンズクラブ	50,000円
	日本たばこ産業株式会社東関東支社	50,000円
○活動助成金	ライオンズクラブ国際協会 333-E地区	300,000円
○事業助成金	公益財団法人 げんでんふれあい茨城財団	500,000円

(役員に関する事項)

○令和4年4月1日、役員（正副会長、理事及び監事）が、協会管理下の活動中に不測の事故にあった際に対応する傷害保険（新型コロナウイルス関連は対象外）に加入した。

- ・令和4年度「子供・若者育成支援のための地域連携推進事業」中央研修会（内閣府主催、11月8日（火）、オンラインにて開催）に役職員9名が出席した。

## II 地域活動推進事業

### 1 市町村民会議活動の推進

地域において青少年育成運動を総合的に推進している市町村民会議等の活動と組織充実のために支援を行った。

(1) 市町村民会議活動の支援

市町村民会議の活動が促進されるよう、訪問、電話等により活動の支援を行った。

(2) 市町村民会議の結成促進

市町村民会議未結成市町へ訪問し結成促進を図った。

- ・訪問市町 守谷市 阿見町
- ・神栖市:少年の主張県大会に多大な協力を賜った。



### (3) 地区市町村民会議連絡会活動の支援

地区市町村民会議連絡会の研修会に出席するなど、活動の支援を行った。

- ・水戸地区青少年育成市町民会議連絡会（令和4年度事務局：大洗町）
- ・大宮地区青少年育成市町民会議連絡会（ひたちなか市）
- ・県北地区青少年育成市町民会議連絡会（大子町）
- ・鹿行地区青少年育成会連絡会（神栖市）
- ・土浦地区青少年育成市民会議連絡会（つくばみらい市）
- ・稲北地区青少年育成市町村民会議連絡会（稲敷市）
- ・県西東部地区青少年育成市町民会議連絡会（桜川市）
- ・県西西部地区青少年育成市町民会議連絡会（坂東市）

## 2 市町村民会議会長・事務局長・青少年行政担当者等研修会

○開催日 令和4年4月27日(水)

○会場 県立青少年会館(水戸市)

○出席人数 98名 (37市町村)

○内容

- ・青少年育成県民運動の推進(実施事業の具体的な説明)
- ・「少年の主張茨城県大会」主張発表の映像上映
- ・コロナ禍でも活動を続ける団体からの「実践事例発表」
  - ①「子どもの安全は地域で守る」(筑西市)  
子供を守る自警団防犯パトロール隊 代表 鈴木 親男 氏  
スクールガード河間 代表 稲見 信夫 氏
  - ②「コロナ禍での事業を創出した青少年育成地域活動」(つくば市)  
青少年を育てるつくば市民の会荃崎支部  
支部長 中嶋 修 氏 副支部長 稲川 誠一 氏  
副支部長 高木 圭介 氏
  - ③「コロナ禍に対応した青少年育成事業」(東海村)  
青少年育成東海村民会議 事務局長  
東海村教育委員会生涯学習課長補佐 三浦 充宏 氏
- ・参加者との意見交換「コロナ禍の青少年育成活動～子どもの成長と地域の力～」  
座長：豊島 正明 副会長

## 3 青少年育成市町村民会議訪問懇談会

当協会役職員が市町村民会議を訪問し、青少年育成活動の進め方等について関係者と意見交換を行い、県民運動の普及と市町村民会議の活動促進を図った。

○懇談会実施市町村民会議

- ・青少年育成茨城町民会議（茨城町）

令和4年12月13日(火) 茨城町役場駒場庁舎 6名出席

- ・ 青少年育成常陸大宮市民会議（常陸大宮市）  
令和4年12月14日(水) 常陸大宮市役所 5名出席
- ・ 青少年育成城里町民会議(城里町)  
令和4年12月15日(木) コミュニティーセンター城里 9名出席
- ・ 青少年のための古河市民会議(古河市)  
令和4年12月21日(水) 古河市役所古河庁舎 6名出席
- ・ その他、情報収集のために、事務局で全市町村を訪問した。  
(1月19・20・23・24・25・26・27日の7日間)

#### 4 地域を編む孤立0(ゼロ)プロジェクト事業の実施

生きづらさを抱える子ども・若者が、支援の網の目からこぼれ落ちてしまわないよう、地域での連携した支援を進める孤立0(ゼロ)の取り組みの全県的な波及と複合的支援活動の発展を図る「地域を編む孤立0(ゼロ)プロジェクト事業」を実施した。

##### (1) 合同研修会の実施

不登校・ひきこもり、貧困問題など、子ども・若者が抱える生きづらさについて理解を深めるため、青少年育成団体等の合同研修会を開催した。

合同研修会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から1市町村・1団体につき1名の出席とした。

- 開催日 令和4年8月31日(水) 13:00～15:30
- 主催 (公社)茨城県青少年育成協会
- 共催 茨城県PTA連絡協議会  
茨城県青少年相談員連絡協議会(いばらき子ども見守りネットワーク)  
茨城県生涯学習・社会教育研究会
- 会場 県立青少年会館(水戸市)
- 内容 <講演>  
「子ども・若者が抱える生きづらさ ～現場から見る課題～」  
特定非営利活動法人 若年者社会参加支援普及協会  
アストリンク 理事長 浅井 和幸 氏  
<グループワーク>  
「学校に代わる居場所とは？」  
<モデル事業活動紹介>  
つながる図書館(石岡市)  
雑木林で遊ぶ会(つくば市)  
子ども食堂ふぁみりー(かすみがうら市)
- 参加者 72名

(2) 「地域を編む孤立0(ゼロ)プロジェクト」モデル事業の実施

困難を抱える子ども・若者の支援活動に取り組む団体を公募・指定し、1団体10万円を限度として助成した。

また、事業内容を機関紙「あけぼの」で紹介した。

No.	実施団体(所在地)	事業名
1	つながる図書館 (石岡市)	民間図書館として地域の居場所づくり ・建物の解体、リフォーム ・2/26 みんなの食堂(子ども食堂)
2	雑木林で遊ぶ会 (つくば市)	自然の中で子どもたちが自由に遊ぶ活動 ・週2~3回「こそだての家」の活動拠点 ・収穫祭、キャンプ活動など
3	子ども食堂ふぁみりー (かすみがうら市)	子育て家庭など、地域の方々に食事の提供 ・毎月100食を提供、常に完売するほど人気 ・食材提供などで地域の協力を得ている

### Ⅲ 青少年健全育成事業

#### 1 少年の主張茨城県大会

少年の社会への関心や視野を広めるとともに、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力などの育成を図るため、県内中学生から主張文を募集し、優秀者10名が発表する県大会を開催した。

・発表大会 令和4年9月23日(金・祝日)神栖市文化センターで開催

・共催 神栖市 神栖市教育委員会 神栖市学校長会

・参加者 約300名(●コロナ禍のため、定員を2分の1以下に制限、市内中学生(市内8校から1学校20名以内)、市町村民会議、青少年育成関係者等)

・県青少年育成協会への推薦 239作品 ・応募総数 11,631作品

・参加中学校数 139中学校(32市町村)

・最優秀者(茨城県知事賞) 筑西市立明野中学校 3年

堀江 乙花(ほりえ おとか)さん

・全国大会出場候補者として、最優秀者(茨城県知事賞受賞者)を関東甲信越静ブロック審査(書類審査)へ推薦した。

・発表記録集900部及び主張発表(10名)を収録したCD500枚を作成し、全中学校、市町村教育委員会、市町村民会議及び正会員団体等へ配付した。

・主張発表(10名)映像を収録したDVDを作成し、神栖市内の中学校及び発表者へ贈呈するとともに、市町村で開催される研修会に活用を図った。

#### IV 明るく楽しい家庭づくり・「地域親」推進事業

##### 1 大人のマナーアップ運動—大人が変われば、子どもも変わる—の推進

地域の大人や親一人ひとりが、自分自身を省みて子どもたちの手本になるよう心がける「大人のマナーアップ運動—大人が変われば、子どもも変わる—」の普及啓発を図った。併せて「ながらスマホ0(ゼロ)」県民運動の普及啓発を推進した。

##### (1) 大人のマナーアップ宣言

- ・スマホを閉じて子どもに目を向ける
- ・子どもの笑顔をつくれる大人になる 等

##### (2) 「大人のマナーアップ運動—大人が変われば、子どもも変わる—」街頭キャンペーンの実施

県民に広くアピールするために、関係機関・団体と連携し、「あいさつ・声かけ運動」及び「大人のマナーアップ運動—大人が変われば、子どもも変わる—」街頭キャンペーンを実施した。

●新型コロナウイルス感染拡大を受け、つくば駅、守谷駅は中止とした。

日程	実施場所	実施主体	参加者数
10月 2日(日)	ケーズデンキ スタジアム水戸	茨城県青少年育成協会	10名
11月 1日(火)	日立駅 常陸多賀駅	日立市青少年育成推進会議	102名
11月 2日(水)	小木津駅 大甕駅		
11月 1日(火)	土浦駅 神立駅 荒川沖駅	土浦市まちづくり市民会議 青少年育成部 土浦市青少年相談員連絡協議会	250名
11月 4日(金)	新鉾田駅	青少年育成鉾田市民会議	22名
11月 9日(水)	下館駅	青少年育成筑西市民の会	140名
12月 14日(水)	アダストリア みとアリーナ	茨城県青少年育成協会	8名

##### (3) 啓発資料の作製

市町村民会議等へのぼり旗及びポケットティッシュ（「あいさつ・声かけ運動」と併記）の共同作製を斡旋した。

○大人のマナーアップ のぼり旗

- ・共同作製 4市町 計 94枚

- 大人のマナーアップ、あいさつ・声かけ運動 ポケットティッシュ
  - ・共同作製 9市町村 計 22,000 個
  - ・県育成協会 14,000 個

## 2 「あいさつ・声かけ運動」の推進

地域の大人と子ども、大人同士、子ども同士のコミュニケーションを広げる「きっかけ」とするため、家庭、学校、地域の中で日々「あいさつ・声かけ」が交わされるよう、県民や関係機関・団体への普及啓発に取り組むとともに、青少年育成市町村民会議等が推進主体になって地域で運動を展開するよう支援した。

### (1) 「あいさつ・声かけ運動」強調月間街頭キャンペーンの実施

#### 【再掲】

県民に広くアピールするために、関係機関・団体と連携し、「あいさつ・声かけ運動」及び「大人のマナーアップ運動—大人が変われば、子どもも変わる—」街頭キャンペーンを実施した。

(実施日程、場所等は、「大人のマナーアップ運動—大人が変われば、子どもも変わる—」を参照。)

### (2) 啓発資料の作製

市町村民会議等へのぼり旗及びポケットティッシュ(「大人のマナーアップ運動」と併記。)の共同作製を斡旋した。

- あいさつ・声かけ運動等 のぼり旗
  - ・共同作製 8市町 計 785 枚

#### 【再掲】

- 大人のマナーアップ、あいさつ・声かけ運動 ポケットティッシュ
  - ・共同作製 9市町村 計 22,000 個
  - ・県育成協会 14,000 個

## 3 明るく楽しい家庭づくり運動の推進

### (1) 「家庭の日」の推進

家族の絆を深め、家庭を大切にし、明るく豊かな家庭を築く「家庭の日」(第3日曜日)を推進した。

#### ① 「家庭の日」絵画・ポスターの募集

市町村及び市町村民会議に小学生の部、中学生の部、各3作品以内として募集を行った。

市町村及び市町村民会議から推薦のあった作品については、専門家等による審査委員会の審査を行い、最優秀作品6点を決定した。

最優秀賞受賞者は、「ぺんてる賞」として、ぺんてる株式会社 茨城工場 様

から記念品が贈られ、令和5年3月24日(金)に開催した青少年団体等表彰式の席上で表彰した。

また、推薦作品は、機関紙「あけぼの」及びホームページで紹介するとともに、イオンモール水戸内原、イオンモールつくばを会場に、それぞれ1週間の展示を行い、「家庭の日」の普及を図った。

○応募状況

- ・市町村応募数 (27 市町村)

小学生の部 3,534 作品 中学生の部 341 作品 合計 3,875 作品

- ・県青少年育成協会への推薦

小学生の部 79 作品 中学生の部 51 作品 合計 130 作品

○「家庭の日」絵画・ポスター審査

- ・令和5年1月17日(火)

県立青少年会館(水戸市) 2階 大研修室

- ・審査委員会

茨城県学校長会 (茨城県教育研究会)

茨城県福祉部子ども政策局 青少年家庭課

茨城県PTA連絡協議会

茨城県少年団体連絡協議会

公益社団法人 茨城県青少年育成協会

○「家庭の日」絵画・ポスター展示

- ・令和5年1月24日(火)～1月30日(月)

イオンモール水戸内原 2階イオンスタイル前通路

- ・令和5年2月3日(金)～2月9日(木)

イオンモールつくば 1階ウエストコート通路

○最優秀賞受賞者

- ・賞状の授与及び記念品(協賛:ペンてる株式会社 茨城工場)の贈呈

- ・令和5年3月24日(金) 青少年団体等表彰式で表彰

No.	氏名	学校・学年	タイトル
1	加古 瑠莉那	日立市立日高小学校 5年	「一緒」で笑顔
2	川井 樹	石岡市立柿岡小学校 4年	新年 トランプ大会
3	青島 慎太郎	つくばみらい市立 陽光台小学校 2年	みんなでワイワイ花火
4	高橋 煌琥	常総市立水海道中学校 1年	ご先祖様を大切に
5	近藤 暖太	守谷市立御所ヶ丘中学校 1年	変わらないもの(花言葉のように)

6	関根 葵	わかすぎ学園 那珂市立第四中学校 9年	おじいちゃんと収穫
---	------	------------------------	-----------

#### 4 青少年健全育成茨城県推進大会

子育て中の親や青少年育成関係者が一堂に会する大会を開催し、「中学生の主張発表」や「地域を編む孤立0(ゼロ)プロジェクト」事業報告の他、本県に相撲部屋を開所した二所ノ関親方の講演会を通して、子ども・若者育成支援活動への積極的な参加を呼びかけ、青少年育成県民運動のより一層の理解と啓発を図った。

- 開催日 令和5年2月8日(水) 13:00～15:30
- 主催 (公社)茨城県青少年育成協会 茨城県  
青少年育成市町村民会議
- 協賛 ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区  
公益財団法人 げんでん ふれあい茨城財団
- 会場 アダストリアみとアリーナ(水戸市)
- 参加者 約1,000名
- 内容
  - ・開会式
  - ・中学生の主張発表  
筑西市立明野中学校 3年 堀江 乙花 さん  
結城市立結城東中学校 2年 須藤 美桜 さん
  - ・事業報告 「地域を編む孤立0(ゼロ)プロジェクト」
  - ・講演会  
「ピンチをチャンスに変え続けた相撲人生、心との向き合い方」  
講師 二所ノ関部屋 二所ノ関 寛 親方  
インタビュアー NHK水戸放送局 高橋 康輔 アナウンサー

## V 非行防止・社会環境浄化推進事業

### 1 薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の推進

茨城県及び茨城県薬物乱用防止指導員協議会が主体となって実施する「ダメ。ゼッタイ。」普及運動に市町村民会議と共に参加協力する。

#### (1) 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動<sup>ろくにろく</sup>6.26ヤング街頭キャンペーンへの参加活動

- ・実施日 令和4年6月25日(土)
- ・場所 水戸駅

#### (2) 「ダメ。ゼッタイ。」看板設置による広報啓発活動

薬物乱用防止を啓発する看板を県立青少年会館に設置して広報啓発活動を行った。

## 2 <sup>にじゅっさいみまん</sup>20歳未満の喫煙防止活動の推進

茨城県20歳未満喫煙防止対策協議会が主体となって実施する20歳喫煙防止街頭キャンペーンに、国・県関係機関、市町村民会議、県青少年相談員連絡協議会（いばらき子ども見守りネットワーク）、県更生保護女性連盟、茨城県たばこ販売協同組合、日本たばこ産業(株)茨城支社等とともに参加協力し、20歳未満の喫煙防止啓発活動の推進を図った。

- ・実施日 令和4年10月13日（木）
- ・場 所 水戸駅、日立駅、土浦駅、取手駅、下館駅

## 3 「いばらき青少年・若者プラン」に呼応した活動の推進

茨城県等が主体となって実施する「茨城県フィルタリング普及啓発推進月間」・「春のあんしんネット・新学期一斉行動」について、青少年を取り巻く関係者の理解を深める活動を集中的に行い、有害情報から青少年を守るフィルタリング普及啓発活動を推進した。

- 新型コロナウイルス感染症拡大を受け、「茨城県フィルタリング普及啓発推進月間」及び「春のあんしんネット・新学期一斉行動」周知啓発に係る「街頭キャンペーン」は、行なわれないことになった。

## 4 安全なまちづくり県民運動の推進

茨城県安全なまちづくり推進会議が主体となって実施した「犯罪被害者週間」における街頭キャンペーンに参加協力をした。

- ・実施日 令和4年11月25日（金）
- ・場 所 水戸駅

## VI 青少年会館運営事業

茨城県による県有施設の休業要請等による休館

○電気設備工事

令和4年12月26日（月）～12月27日（火）2日間

### 1-1 茨城県立青少年会館（研修室）の運営＜公益目的事業＞

指定管理者である茨城県立青少年会館において、青少年及び若者の研修、学習、その他の活動を促進することを目的とする施設貸与を行った。

しかし、今年度も新型コロナウイルスの影響があり、利用者数は昨年度よりも増加したが、コロナ禍前の利用状況までには至っていない。

- (1) エアコン屋外機配管工事、給水管修理工事等の実施
- (2) 青少年等に対する低料金での施設貸与
- (3) 利用者アンケートの実施



### 1-2 茨城県立青少年会館（研修室）の運営＜収益事業＞

指定管理者である茨城県立青少年会館において、青少年等以外に対する施設貸与を行った。また、利用者に対してコピーサービスや食事提供の斡旋、またカプセルトイレの継続設置等、サービス向上のための事業を実施した。

	令和3年度	令和4年度	前年度比
1-1 青少年等利用件数	309件	441件	142.7%
1-2 一般(青少年等以外)利用件数	1,241件	1,610件	129.7%
合計	1,550件	2,051件	132.3%

### 2-1 偕楽園ユースホステル（宿泊室）の運営＜公益目的事業＞

指定管理者である偕楽園ユースホステルにおいて、青少年及び若者の健全な旅行を励行し、規則正しい行動を習得させることを目的とする施設貸与を行った。研修室と同様に、年間を通して新型コロナウイルスの影響を大きく受ける中、旅行代金の割引制度「いば旅あんしん割」を活用し、利用増に努めた。

- (1) 青少年等に対する低料金での施設貸与
- (2) 青少年団体等の引率者、関係者に対する割引料金の適用
- (3) 「いば旅あんしん割」などの支援制度への登録及び活用

### 2-2 偕楽園ユースホステル（宿泊室）の運営＜収益事業＞

指定管理者である偕楽園ユースホステルにおいて、青少年等以外に対する施設貸与を行った。宿泊室の複数利用者に対する割引料金の適用、洗濯機・乾燥機の継続設置、アメニティグッズの販売等のサービス向上を図り、利用者増に努めた。

	令和3年度	令和4年度	前年度比
2-1 青少年等利用人数	238名	381名	160.1%
2-2 一般(青少年等以外)利用人数	496名	1,178名	237.5%
合計	734名	1,559名	212.4%

### 3 青年リーダーの養成に関する事業

#### (1) 若者ボランティアチーム「いばらきユースプロジェクト」の設置運営

青年たちが自主的な地域活動を通して仲間作りや達成感を体験することで成長し、地域における青年活動のリーダーとなる人材を育てることを目的に「いばらきユースプロジェクト」を組織してボランティア活動を行った。

①本年度登録メンバー 10名（高校生3名、大学生・院生3名、社会人4名）

#### ②結団式

○開催日 令和4年4月16日(土) 10:00～11:30

- 場 所 県立青少年会館(水戸市) アイルーム
- 内 容 結団式を行って活動をスタートさせるとともに、自己紹介、事業の概要説明を行い、メンバーの交流を図った。

③「水戸黄門漫遊マラソン」応援ボランティア

- 開催日 令和4年10月30日(日) 12:30~14:00
- 場 所 四季の原公園(水戸市)
- 参加メンバー 4名
- 内 容 初めてのボランティア活動として、沿道でマラソンランナーを応援するボランティア活動を行った。

④「茨城県立歴史館 いちょうまつり」ボードアート体験ブースの出店

- 開催日 令和4年11月13日(日) 9:30~13:00
- 場 所 茨城県立歴史館(水戸市)
- 参加メンバー 5名
- 内 容 県立歴史館いちょうまつりの会場で、子どもを対象に、コルクボードに好きな飾りつけをしてもらう「ボードアート」の体験ブースを運営した。

⑤自主企画イベント「昔遊びをしよう」

- 開催日 令和4年12月18日(日) 13:00~15:00
- 場 所 茨城県立歴史館(水戸市)
- 参加メンバー 8名
- 内 容 小学生1、2年生を対象に、「だるまさんが転んだ」「こおり鬼」などの昔遊びを行った。

⑥県立図書館「親子でエンジョイ! 「正月遊び」段ボール羽子板」

- 開催日 令和5年1月8日(日) 13:30~15:30
- 場 所 茨城県立図書館(水戸市)
- 参加メンバー 6名
- 内 容 県立図書館が主催するダンボール羽子板づくりにおいて、作り方の手本を見せたり、親子の工作のお手伝いをしたり、イベント運営に協力した。

9組の親子が参加する中、ユースプロジェクトメンバーがダンボール羽子板の作り方を説明した。親子の制作を手伝い、完成後は子どもたちと屋外で羽根つきをして楽しんでもらった。

(2) 子ども・若者アシストi(アイ)事業の実施

小学3年生~4年生の児童に、地域で学ぶことの楽しさや教えあう喜びを体験することを目的に、地域のマンパワーを活用した学習会及び子ども食堂を開催した。子ども食堂は、子ども・若者の育ちを支援するボランティア「アシストメンバー」が主体となって運営を行った。

○内容及び講師

- ・はじめて学ぶイングリッシュ／英語で遊ぼう 1・2・3  
水戸市教育委員会 英語指導助手 バーバラ・ペニャーテ 氏
- ・はじめて学ぶプログラミング  
CoderDojo 水戸 メンター 大谷 武郎 氏  
CoderDojo 水戸 チャンピオン 井川 健一 氏
- ・子ども食堂

県立青少年会館 1 階にあるココリコ食堂及びアシストメンバー等によるカレーライスの提供を行った。また、水戸農業協同組合 様、田口光一 様、茨城県女性のつばさ連絡会中央地域 様から食材の提供を受けた。

- 開催日時
- ・令和 4 年 7 月 30 日(土) 10:00～15:00
  - ・令和 4 年 8 月 20 日(土) 10:00～15:00
  - ・令和 4 年 10 月 15 日(土) 10:00～15:00
  - ・令和 4 年 12 月 24 日(土) 10:00～15:00
  - ・令和 5 年 1 月 28 日(土) 10:00～15:00
  - ・令和 5 年 2 月 18 日(土) 10:00～15:00

○場 所 県立青少年会館(水戸市) アイルーム等

- 参加者数
- ・英語 延べ 61 名
  - ・プログラミング 延べ 96 名